



平成23年10月13日

各 位

会 社 名	山陽電気鉄道株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 上 門 一 裕
コード番号	9052
上場取引所	大証第1部
問 合 せ 先	取締役総務本部マネージャー 荒 木 素 直 (TEL 078-612-2032)

当社子会社（株式会社山陽百貨店）の業績予想との差異及び
業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社山陽百貨店（代表取締役社長：高野 勝）が「平成24年2月期第2四半期累計期間における業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績予想の修正はありません。

以 上

各 位

上場会社名 株式会社 山陽百貨店
 代表者 代表取締役社長 高野 勝
 (コード番号 8257)
 問合せ先責任者 取締役経営企画統括ゼネラルマネジャー 岩野 誠
 (TEL 079-223-1231)

平成24年2月期第2四半期累計期間における業績予想との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年7月14日に公表した平成24年2月期第2四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成24年2月期通期の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成24年2月期第2四半期累計期間業績予想との差異について

平成24年2月期第2四半期(累計)連結業績予想との差異(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,823	96	91	12	16 15
今回実績(B)	9,829	142	144	44	55 89
増減額(B-A)	6	45	53	31	—
増減率(%)	0.1	47.3	57.8	246.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年2月期第2四半期)	10,026	91	82	34	42 45

平成24年2月期第2四半期(累計)個別業績予想との差異(平成23年3月1日～平成23年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,800	96	88	11	14 17
今回実績(B)	9,810	139	135	39	49 27
増減額(B-A)	9	43	47	28	—
増減率(%)	0.1	45.2	54.2	247.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年2月期第2四半期)	10,006	96	81	34	42 65

2. 平成24年2月期通期業績予想の修正について

平成24年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,098	238	208	113	140 77
今回修正予想(B)	20,107	282	257	140	174 78
増減額(B-A)	9	43	48	27	—
増減率(%)	0.0	18.2	23.3	24.2	—
(ご参考)前期実績 (平成23年2月期)	20,624	270	246	171	213 89

平成24年2月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	20,057	235	198	107	133 37
今回修正予想（B）	20,067	279	247	134	167 39
増減額（B—A）	9	43	48	27	—
増減率（%）	0.0	18.4	24.4	25.5	—
（ご参考）前期実績 （平成23年2月期）	20,583	270	239	166	207 69

差異及び修正の理由

（第2四半期累計期間の業績予想との差異）

当第2四半期累計期間につきましては、東日本大震災や原子力発電所事故による消費自粛の動きは落ち着きを取り戻し、また、クールビズ関連衣料や暑さ対策商品が活況となり、売上高は前回予想を9百万円上回りました。

利益につきましては、粗利益率が向上したこと及び経費面での継続的な圧縮と削減の取り組みが目標を達成したことにより前回予想と比べ、営業利益は43百万円増加、経常利益は47百万円増加、四半期純利益は28百万円の増加となりました。

連結業績につきましては、個別業績が主要因となり差異が生じました。

（通期の業績予想の修正）

当第3四半期以降の会計期間につきましては、円高、電力不足問題等により依然として景気の不透明感が残るなか、業績予想を前回のまま据え置いております。

その結果、通期につきましては、当第2四半期累計期間と同じく、売上高は9百万円の増加、営業利益は43百万円の増加、経常利益は48百万円の増加、当期純利益は27百万円の増加と修正を行うものであります。

連結業績につきましては、個別業績予想の修正に伴い修正いたしました。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上